

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年5月15日

事業所名：シリウス神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動スペースとしての基準は確保されているが物が多いため手狭に感じる。	子どもの体が大きくなってきた為 中高生が多いときは狭く感じるかもしれない。	日々 子どもの年齢などに応じて安全に過ごせるスペースを確保しています。
	2 職員の適切な配置	確保されています。		児童2名に対して職員1.6~1.8名を配置しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレは車椅子ごと入るスペースがあります トイレ 手すりあり		玄関先の段差については今後検討します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	業務終了後毎日掃除を行っています。		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月1回ミーティングを実施		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員が希望する外部研修に参加しています。		1人1回以上の外部研修に積極的に参加してスキルアップを目指します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成			
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		面談以外でも 子どもに変化がある時は相談にのってもらっている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施			
	5	チーム全体での活動プログラムの立案		マンネリ化にならないように工夫します。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		利用期間が長くなってきた為活動プログラムに新鮮味が感じなくなりました。	マンネリ化にならないように工夫します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施			マンネリ化にならないように工夫します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底			
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化			
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の様子は連絡帳を記録としています。		今後も継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	実施しています。		今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供		
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。		今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底			
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施			
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情の窓口の掲載をしています。		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮			
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月一回おたよりを出して 様子を記事にしてお知らせしていました。	この半年お便りがでていません。	申し訳ありません。 4月より発行をリニューアルしてお子様の様子をお伝えします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	全ての家庭に写真等使用して良いか確認をしています。		取り扱いには十分配慮しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底			
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回避難訓練を実施 実施日においては行事予定に記載	訓練をしているかわからない。	避難訓練の様子をお便りにて掲載をします。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回スタッフ全員ミーティング時に研修を実施		年1回虐待防止研修を行い 職員間でしっかりと話をして共通認識をする。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行うおそれのあるお子様に関しては同意書を頂き 個別支援計画にも記載する。		今後も同様に対応していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーのあるお子様に対しては契約時にアセスメントを行い 可能のおやつを提供します。		今後も同様に対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	共有はしているが 適切ではない。		ヒヤリハットがあった場合記録をしてスタッフミーティングで共有する。